

FLOR DE LA LUNA

手下倭里亜フラメンコ舞踊 35周年記念公演リサイタル

月華

すべてつきはなをば さのみめにて
みるものかは 徒然草

手下倭里亜

ダニエル・トーレス

ハビエル・リベラ (カンテ) / エル・プラテアオ (カンテ)

ラモン・アマドール (ギター) / 鈴木淳弘 (ギター)

三木重人 (バイオリン)

小池朱美 / 久保田晴菜 (バイレ)

2017年6月10日(土)

18:30 開場 19:00 開演

【会場】草月ホール 〒107-8505 東京都港区赤坂 7-2-21
草月会館 B1 TEL 03-3408-1154

【料金】2月8日先行発売開始!

前売り指定席 SS席: 8,500円 S席: 8,000円 A席: 7,000円

当日券指定席 SS席: 9,000円 S席: 8,500円 A席: 7,500円 B席: 3,500円(学割)

【チケットお申し込み】手下イリア公演事務局

TEL: 03-5577-6818 (スタジオ) / Email: ticket.ilia@gmail.com (石垣ヒロミ宛て) / Web サイト: <http://www.ilia-f.com/form/>

後援:  スペイン大使館

 セルバンテス文化センター東京

 日本フラメンコ協会

 一般社団法人 現代舞踊協会

『すべて月・花をば さのみめにて みるものかは…』

兼好は、月も花も 直接目に見えるものだけがすべてではなく、心で感じる事が肝要でそこからイメージを膨らませて想いを馳せる事で、より趣ある世界がみえてくると説いています。

ダニエル演じる画家と月、手下の演じる満月の夜。そして、一晩だけしか花を咲かさぬ月下美人。

永遠にめぐる時間と一瞬

2012年 作品 Espacio(間) ~ 2016年作品 Luna Menguyente (下弦) に続く今回の作品 Flor de la Luna (月華)。

手下 倭里亜 《踊り》 Ilija Tega (IKIKO) -Baile-

モダン、クラシックバレエの後、フラメンコに出会う。小島章司フラメンコ舞踊団員として数々の作品に参加後、独立。1989~90年、1993~94年渡西。シロー、マノロ・マリン、ラ・トナなどに師事。後にマヌエラ・カラスコ、アンヘリータ・バルガスらに感銘、師事し、定期的な渡西を繰り返している。2001年~御茶ノ水にスタジオを開設。2014年スタジオを駿河台下の神保町に、本格的照明音響を完備した、ライブのできる多目的、創作実験スタジオとして再新設。バイレ、ギター、カンテの三位一体の追及と共に、自身のフラメンコの表現の新たな可能性を追求中。~ソロリサイタル~ 1995年「Agua de Sevilla」、2001年「En el Momento」、2012年「Espacio ~間~HAZAMA」、2016年「Luna Menguyente (下弦)」。フラメンコサイトガイド: <http://allabout.co.jp/gm/gt/2995>

ダニエル・トーレス 《踊り》 Daniel Torres -Baile-

幼くしてチクラナ・デ・ラ・フロンテラのカルメン・ソト音楽院で基礎を学ぶ。2001年、クアドロフラメンコ、ボデーガス等でプロデビュー。2001年、ロンドンのテアトロ エンパイアでの公演。2002年、アンダルシア各地でのチャロ・クルス演出の「カルメン」公演。バルセロナのタブラオ「エル・コルドベス」に出演。2003年「レコルダンドテ」の作品に出演。モンテカルロでの「カルメン」公演。2004年と2011年には、クリスティーナ・オヨス率いるアンダルシアフラメンコ舞踊団の一員として「ア・ティエンポ・イ・コンパス」「イエルマ」「ヴィアハ・アル・スール」「ロマンセロ・ヒターノ」「ポエマ・デル・カンテ・ホンド・エン・エル・カフェ・デ・チニータス」。日本来日公演も数多く、熱いファンが増えて来ている。



© YUKI OMORI



© YUKI OMORI



ハビエル・リベラ
《歌 -Cante-》
Javier Rivera

1975年セビージャ生れ。2000年クリスティーナ・ヘレン財団にてナランヒーロ、カリスト・サンチェス、ホセ・デ・ラ・トマサに師事。2001年より舞踊のためのカンテをはじめ、ラファエル・カンパージョ、ホセ・ガルバン、ウルスラ・ロベス、ハビエル・パロン等と共演。モン・マルサン、ニメス、トロント、ヘレス、セビージャのビエナル等重要なフェスティバルに出演し、ここ数年アンダルシア州内で活躍、注目のカンテ・ソリストである。



エル・プラテアオ
《歌 -Cante-》
El Plateao

1977年セビージャ出身。"NARANJITO DE TRIANA" ソレアレスコンクールファイナリストとなる。ミゲル・バルガスとエスペランサ・フェルナンデスのカンパニーなどにてスペインで活躍後、2010年11月より東京へ拠点を移す。2012年参天製菓(高田純次)CM監修。アントニオ・カナレス、ラファエル・ウゲーニ、マヌエラ・カラスコ等、有名アーティストと共演。全国の劇場、タブラオなど勢力的に活動中。



ラモン・アマドール
《ギター -Guitarra-》
Ramon Amador

1985年セビージャ生れ。アマドール家のラモン・アマドールの息子として12歳からアンヘリータ・バルガス、エル・パレタ等偉大なアーティストと共演。14歳からプロギタリストとしてロス・ガジョス他有名タブラオ、ジェルバブエナ舞踊団、クリスティーナ・オヨス舞踊団等大きな舞踊団にも参加。ファルキート、レメディオス・アマジャなど有名アーティストとの共演多数。アンダルシアペーニャ連盟 2010年ギターコンクール2位受賞。



鈴木 淳弘
《ギター -Guitarra-》
Atsushi Suzuki

1969年生まれ。15歳よりギターを始めバンド活動の後、25歳でフラメンコに出会い、原田和彦氏に師事。その後マドリッドにてバシリョ・ガルシア、エル・チキ、ホアン・カルロス・ベルランガなどの下で研鑽を積む一方、踊り伴奏をラ・チナの元で学ぶ。現在はタブラオ、舞台の伴奏、音楽制作を手がけ、柔軟なスタイルと深い愛情は高い評価を得ている。



三木 重人
《バイオリン -Violin-》
Shigeto Miki

神戸出身。幼少より音楽、バイオリンに親しむ。ベーシストとしてバンド活動を始めるがバイオリンに再転向。後にフラメンコと出会い、踊りの伴奏に傾倒。渡西を繰り返し研鑽を積んでいる。確立されたそのスタイルは高いフラメンコ性と音楽性に裏付けられ、多くの踊り手と共演している。フラメンコ舞踊伴奏におけるバイオリンの可能性を追求しつつ、東京を中心に全国の舞台、タブラオなどで活動中。



小池 朱美
《踊り -Baile-》
Akemi Koike

静岡県出身。岡田昌己スペイン舞踊団に在籍後、全国での舞台、一流アーティスト達との共演、スペイン留学を経て、フラメンコ、クラシコ・エスパニョール、ホタなどスペイン舞踊全般を踊る。ダニエル・トーレス、ロシオ・モリーナなど多数のアーティストに師事。2012年浜松に「Casa Aquemita」開設。2016年7月浜松でダニエル・トーレスと共演、初リサイタル「FRÁGIL ~私について~」。



久保田 晴菜
《踊り -Baile-》
Haruna Kubota

幼少の頃より、フラメンコ、モダンバレエのち、小島章司フラメンコ舞踊団員としてハビエル・ラトール演出・振付の「ラ・セレスティーナ」ビジャマルタ劇場、マエストランサ劇場公演にも参加。2013年日本大学芸術学部演劇学科演出コース卒業後、留学し帰国後は、ライブ・公演活動のほか、文化芸術による子供の育成事業(巡回公演)出演など、精力的に活動中。

【振付・構成・原案】手下 倭里亜 【振付・構成・演出】ダニエル・トーレス

【舞台監督】 白戸 規之

【照明】 佐々木 孝尚 (オフィス ササキ)

【音響】 浦崎 貴 (ワンダースリー)

【写真】 大森 有起

【ビデオ】 川本 晴俊

FLOR DE LA LUNA

手下倭里亜フラメンコ舞踊 35周年記念公演リサイタル

月華

2017年6月10日(土) 18:30 開場 19:00 開演

【会場】 草月ホール (草月会館 B1 東京都港区赤坂 7-2-21 TEL 03-3408-1154)

【料金】 前売り指定席 SS席: 8,500円 S席: 8,000円 A席: 7,000円
当日券指定席 SS席: 9,000円 S席: 8,500円 A席: 7,500円
B席: 3,500円(学割)

【チケットお申し込み】 手下イリア公演事務局

TEL: 03-5577-6818 (スタジオ) / Email: ticket.ilija@gmail.com (石垣ヒロミ宛て)
Web サイト: <http://www.ilija-f.com/form/>

【チケットご購入 お振込先】

三菱東京UFJ銀行 本郷支店 普通 5301291 ササキ イキコ

